

公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会
令和6年度第12回理事会報告

○日 時：令和7年1月9日(木) 13:00—16:15

○場 所：JSOSビル3F会議室4 及びZoom

○出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、赤尾事務局長、野村・町田各常務理事、小高(13:10 から)・栗田(13:15 から)・小田部・佐藤・島田・中島・中橋・西谷・畑中(15:30 から離席)・樋口・平田(14:45 から離席)・前田・望月・安井各理事

以上21名

佐久間監事、古屋監事 以上2名

○欠 席：杉本・濱田各理事 以上2名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

理事の皆様、あけましておめでとうございます。本日は2月初の全国理事長会議、3つのジャパンカップと、新春懇談会について審議ができればと思います よろしくお祈いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中19名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))

監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号 議事録の承認について(前回第11回の議事録について)

議案第2号 2022年度決算における理事の責任、決議文について

12月中旬に第11回の議事録と一緒に回覧、確認され承認済

議案第3号 全国理事長会議について

小野寺専務理事が出欠表を画面から表示説明した。

溝手弁護士にも出席を打診する。

千葉県の記事長名を最新のものに変更する。

議案第4号 自然保護規定改定について

小高理事が、配布資料を基に、自然保護指導員の要件の変更と、研修制度の充実により、研修会の受講を必須とする、活動履歴の内容変更の説明をした。

望月理事が、文言（なお、また等）の使い方の提案と、変更の主旨の確認をした。

4月1日から施行の予定であること、また、上記の文言の変更をしたうえで、最終版として、理事会メンバーあてメールで最終承認を得る手順でよいか採決を取り、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 21名

議案第5号 次年度 JOC 認定強化センター3 拠点の推薦について

安井理事が、配布資料を基に、申請してきた4県の比較表を使用して説明した。SC強化委員会としては、合宿時の補助金の差及び、常任委員の意見から、3つの県を候補にすることを提案したいと説明があった。

外す県については、その旨を丁寧に説明するとともに、JMCA 認定の強化施設という方法も取れることを含め補足説明をする。また、SC部長が説明する。

反対 0名 棄権 1名(安井理事) 賛成 20名

議案第6号 SC 競技規則改定について

中橋理事が、配布資料を基に説明し、改定の主旨として、1. IFの規則変更に伴う年齢の区切りが変わること 2. 2ルートから4ルートに変わることに変更した背景を説明した。

採決を取り、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 21名

議案第7号 令和8年度勲章及び褒章候補について

小野寺専務理事が、口頭で説明した。

*勲四等、勲五等に相当、北海道では、今年は小野倫夫氏が受賞した。

*候補者がいたら5月までに申請が必要と説明した。

議案第8号 2025年スポーツライミングユース日本代表選手選考基準について

ガバナンス委員会による内容チェックはまだだが、次回理事会承認では遅いので、早く承認を得たいので西谷理事が主旨を説明した。

*スピード競技に関わる選手選考基準

*直近の国内大会でよい成績をとったら強化選手外でも選考される。

*基準タイムが前回より早く（短く）なっている。

ガバナンス委員会による最終チェックをすることを条件に、当変更で問題がないか採決し、以下のように承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 20名

議案第9号（追加）月報の配布方法の改善について

前田理事が、画面から以下の内容の提案を説明した。

アンケートの結果として回答のあった38県中、27県（約75%）が、PDF化されるならば、配布を廃止してもよいが、HPに掲載したタイミングで、その旨の連絡メールが欲しいと要望があった。

1. 岳連から受領した返信に基づいて、不要の分の配布をやめる
2月配布分から 約1750部減
2. 顧問・参与・個人購読者向けに、“配布申込書”を送付し、意向を確認後にやめる、継続するかを判断する（対象340名）。
3. 公共機関、報道機関、外部団体等への対応としては、従来どおりの配布を継続する。（対象400部）

その後、以下の意見が出た。

*月報発行をいったんすべてやめ、そのうえで、どうしても必要なところに印刷して配布する（配布先リストの管理を簡単にするため）。

*上記+各県スポーツ協会、JSP0、県警など、JMCAが読んでほしいところに部数を絞って配布する（200部くらい?）

*配布中止については、月報に記事として掲載する（2月目途?）。

*一気にやるのではなくて、既存の読者に対して意向を聞いて、その結果に応じて対応する方が、ソフトランディングできるのではないか。

*日本山岳会各支部、高体連関係についてはどうするか一考が必要。

*アンケートを一度取ったので、その答えに合わせた対応は必要。

*従来どおり送付継続する宛先のもと、配布先の意向により中止する宛先を選別し、各々についての対応案を作成する。

今後は、短期的に次のことを行う。

1. 来たる顧問参与会で、当月報の配布方法の改善について説明をする。
2. 次回2月の理事会で、選別した宛先ごとにどうするか改善提案をする（前田理事）。

追加確認：BJC2025 への参加理事の確認

栗田理事が、蛭田会長、町田 SC 部長、畑中理事（スタッフとして参加）、島田理事、西谷理事が参加の意思表示をしたことを確認した。また、小田部理事（スタッフ）が、将来のスポンサーの候補と、JMCSA の幹部への挨拶が可能かの相談がされ、面会は 3 役（会長、副会長、専務理事）が対象となることが確認された。

15：00－15：10 休憩

7. 報 告

報告第 1 号 月次報告、キャッシュフロー

12 月度の月次結果は出ていないので、説明は割愛する。

報告第 2 号 公認大会について

以下の 3 大会とも常務理事会で承認された。

AKIYO's DREAM with RYUGASAKI

全国中学生リード大会 2025

母恵夢カップ第 5 回スピードスターズ選手権大会 2025

報告第 3 号 新春懇談会について

1 月 11 日（土）、例年と同内容で実施。全体の人数は少なくなったが、前代議士、行政幹部、JSPO 常務理事、M 社副社長など、今まで参加しなかった方が、出席との意向を表明している。

報告第 4 号 事務局 JSOS 内移転計画について

第一候補 2 月 22 日（土）、第 2 候補 3 月 22 日移動の予定としているが、N 社から、正式な移動可能日の返答がきていない。従来 2/3 の広さで手狭になり、不便な部分も出てくると思うが、ご協力をお願いしたい。

報告第 5 号 国スポ大会について事前アンケートについて

小野寺専務理事が配布資料を基に説明した。

報告第 6 号 登山・SC 指導員認定指導員承認について

報告第 7 号 夏山リーダー資格認定承認について

小野寺専務理事が、両件とも常務理事会で承認された旨伝達した。

報告第 8 号 スキーモオリンピック選手選考規程について

小田部理事が、配布資料を基に内容を説明し、常務理事会で承認された旨伝達した。

報告第 9 号 役員派遣について

蛭田会長が配布資料を基に説明した。

8. その他

1. 12月4日付で山梨県山岳連盟望月理事長が発出した文書の内容を望月理事が説明した。当内容は、JMSCA 常務理事会、国スポ委員長にも 伝達されている。
2. JPCA との関係について
12月に JPCA から来た申し入れ内容と、その後の変更内容、NFとして JMSCA に期待されていることの説明がされたのちに、現在有効な覚書の内容や、懸念事項の意見交換がされた。
3. スポンサーの現状について
町田 S C 部長が状況の説明をした。

令和7年1月9日

記録 赤尾 浩一

議事録署名人

会 長 _____

監 事 _____

監 事 _____

以 上